



〒299-2192

千葉県安房郡鋸南町下佐久間 3458

TEL0470-55-4804

発行／鋸南町議会 編集／議会広報特別委員会

きよなん

議会だより



つめたあ〜い
やめてよあ

6月19日 鋸南小2年生 プール開き

知っていますか？

議会の傍聴はどなたでもできます。

次の定例議会は9月です。

傍聴手続きは、当日議場受付で住所・氏名・年齢を書きだけです。日程は、広報無線や町のホームページ（8月下旬）でお知らせします。

はやわかり

- 元名競売用地取得 3
- 3議員が町政を問う 6
- 地域おこし協力隊と懇談会 10
- 町民の声 白田さんに聞く 12

6月定例議会

戸別受信機デジタル化へ

2カ年で全戸配布

30・31年度

| 平成30年度 | 平成31年度 |
|-------------|-------------|
| 戸別受信機1,560台 | 戸別受信機1,565台 |

6月定例議会は、会期を6月12日、1日で開催した。

議案は、議員発議案2件。町長提出議案として、条例改正2件、財産の取得3件、人権擁護委員候補者の推薦2件、一般会計・国保会計補正予算2件及び追加議案として、工事契約の締結1件、合計10議案。いずれも原案の通り可決した。

一般質問は、笹生(久)・三国・田久保の3議員が質問席に立った。

議員発議案

主な町長提出議案

教育予算に関する意見書2件を採択

子ども達の健全育成に必要な教育環境の整備推進を求める「国における教育予算拡充に関する意見書」。

財政に起因する地域格差を防止し、義務教育の全国水準の維持を求める「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」。

それぞれ提出者を総務常任委員長、賛成者を同委員として両意見書を提出。全員賛成で可決し、内閣総理大臣ほか3大臣に提出した。

デジタル戸別受信機購入

防災行政無線の完全デジタル化に向けて、町では現アナルグ戸別受信機を回収し、替りにデジタル戸別受信機を無償貸与する計画を進めている。まず30年度は、津波

の心配のある海岸地域を中心に、31年度は残りの地域への配布が予定されている。

平成30年度分購入契約について、取得を全会一致で可決した。1,560台、7,076万1,600円
スイス通信システム(株)

小学校児童用パソコン購入

既存のデスクトップ型をタブレット型に変更。無線LANによりパソコン教室だけでなく、普通教室へ持ち運びが可能となる。購入による41台の取得を全会一致で可決。

1,181万5,200円
富士電気ITソリューション(株)千葉支店



老人センター

貸切風呂建築工事

旧浴場を撤去し、貸切風呂2室を建築。5千万円以上の工事契約は、議会の議決が必要のため、6月定例会において審議、全会一致で可決した。契約額6,696万円
東海建設(株)鋸南支店

人権擁護委員候補者の推薦

法務大臣に推薦すること
に同意。任期は本年10月1日から3年間。
宇部律子氏(中原区) 2期目
池田順子氏(大六区) 1期目

一部改正された条例

①鋸南町税条例
固定資産税の優遇措置を追加

②鋸南町幼稚園設置条例
新幼稚園開設による設置所在地の変更
(両案とも全会一致で可決)

町民の安全最優先

1億1千万円で競売取得 元名採石場用地

水源保護と観光振興のため 賛成多数で可決

昨年10月の水道水源保護条例の施行に伴い、鋸山ダムの上流地域一帯は、保護地域に指定された。この地域内にある採石場用地（元名字高塚1749番地外50筆28万1,818㎡）が競売となり、町が1億1千万円で落札した。1千万円以上の財産取得には、議会の議決が必要のため、6月定例会において審議、賛成多数で可決した。

～主な質疑～

質疑 購入すべきではあるが、税金の投入であり、地価調査価格3千71万円からすると4～5千万円で落札できたのではないか。1億1千万円という額は納得できない。その根拠は。

答弁 フィルムコミッション等の年間利用料400万円の30年分相当と積算。また汚染土壌問題が混迷を深め、競争者が不特定多数であることを勘案し、確実に町が取得するため、可決予

算1億2千万円内で支出し得る可能な額としました。

質疑 財産の取得目的が観光等の推進となっているが、具体策は。

答弁 引き続きフィルムコミッション等の活用を図るため、関連条例等を制定し、それ以外の様々な団体の利用も検討していきます。

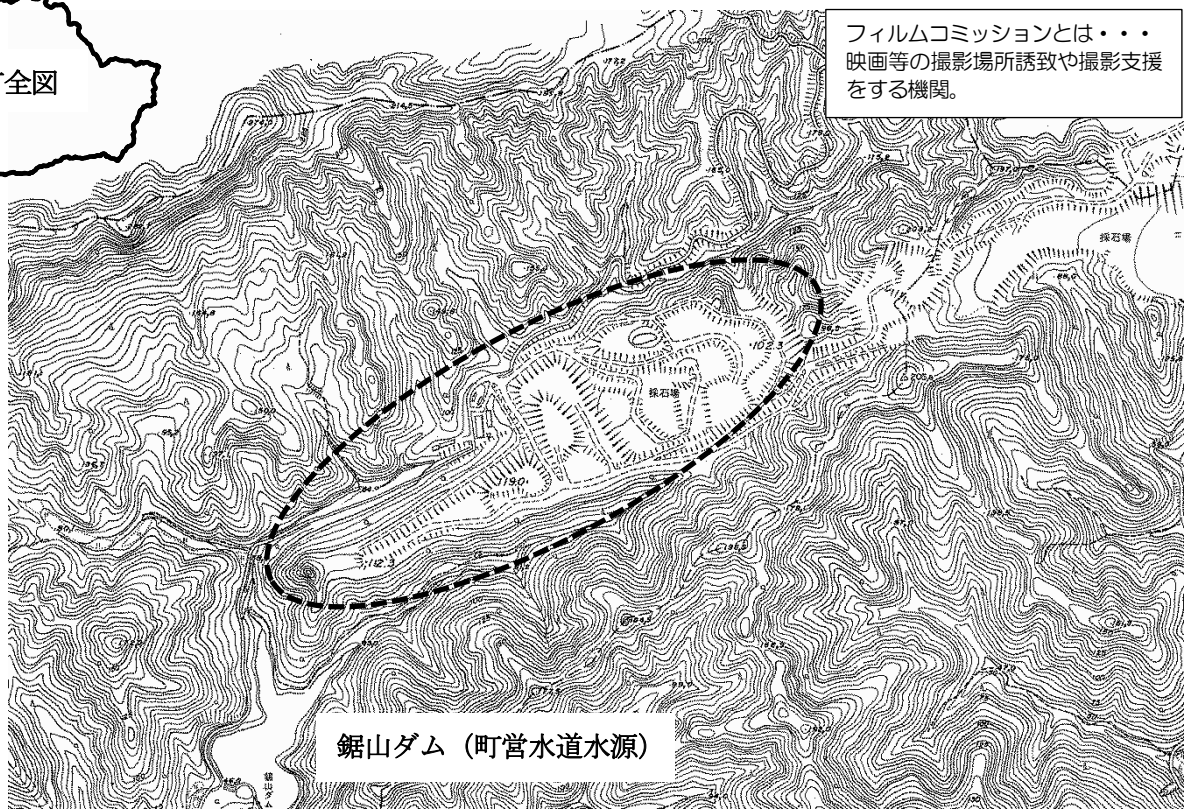
～討論～

賛成討論

伊藤茂明議員

昨年12月から4回に渡る会議で、この財産取得に関し協議をしてきたが、一般事業者が取得した場合、汚染物質等の搬入による水質汚染等の可能性が十分に考えられることから町が取得すべき、と一貫して主張してきた。

フィルムコミッションでの使用をはじめ、様々な活用方法により、交流人口や定住人口増による町活性化の一翼を担うことを期待し賛成する。



一般会計補正予算

一般会計補正予算(第2号)については、433万3千円追加し、補正後の額を38億5,795万5千円とした原案を全会一致で可決した。

へ 主な歳出

議会費 3月定例会で議員発議により可決した、議員報酬5%削減による251万円の減額。

衛生費 家庭用小型合併浄化槽設置補助金51万円。転換型2基分の設置費用に対する補助金の増額。

農林水産費 イノシシ棲み家撲滅特別対策事業207万7千円。ほぼ全額を県の補助金を受けて実施するもので、イノシシの棲み家となっている耕作放棄地等の刈払い作業に対する新規助成事業。

土工費 道の駅推進事業費290万9千円。道の駅きよなんのトイレ清掃業務を

臨時職員から業者委託へ切り替えるための増額。

教育費 学校管理費修繕料87万5千円。強風により破損した鋸南中学校変電室屋根防水シートの修繕。

社会教育総務費消耗品費10万1千円。指定寄付により、子育て広場に敷く畳15枚を購入するもの。

公民館費備品購入費30万円。指定寄付により、図書を購入するもの。

へ 主な歳入

都市交流施設収益分配金247万円。道の駅保田小の平成29年度の収支が確定し、発生した利益のうち、年度協定に基づき、2割が分配金として、指定管理者から町に支払われたもの。



常に客で賑わう 道の駅保田小

質疑と答弁

質疑 鋸南町では高齢化が進む中、耕作放棄地・遊休農地が、かなり増えている。新規事業のイノシシ棲み家撲滅特別対策事業の募集は、5月末に締め切られたとのことだが、応募総数と要望面積の説明を。また、どの地域からの応募が多かったのか。

国民健康保険特別会計 補正予算(第1号)について

285万2千円を追加
予算総額11億9,775万5千円
原案を全会一致で可決

特定健診の受診率向上を目的に、人工知能を活用し、未受診者の特性に合わせ、効果的に受診勧奨等を行う、特定健診受診率向上事業を、千葉県国保連合会に委託するためのもの。



答弁 5月30日で募集を締め切りました。5地区から応募があり、全て佐久間地区の団体です。計画の2倍に当たる10万㎡近くの要望がありましたので、優先順位や補助要件に適合するかなどの調査を行っています。県のヒアリングを経て、7月中には結果を通知できればと考えています。



応募のあった耕作放棄地

5月
臨時議会

28万平方メートル採石場用地 競売参加にむけ

全会一致で1億2千万円の補正案可決

5月11日に開催した臨時議会では、平成30年度一般会計補正(第1号)が審議された。

元名地区町営水道水源地に隣接する岩石採取場用地(面積約28万㎡、地目は雑種地や山林、原野等)が競売となったことから、この用地取得のための購入費、1点に絞った審議が行われた。

水道水源への影響を懸念した町は、町の貯金である財政調整基金から約1割に当る、1億2千万円を取り崩し財源化、補正案を上程。同案を全員賛成で可決した。

なお補正後の財政調整基金残高は、10億610万円となる見込み。

町内には、これら

民間業者の採石用地が複数あり、その後の活用方法が見通せないのが実情。

審議では、水道水源の隣接地という地理的条件から、町が保有するのが最適との意見がある一方で、当該土地の有効活用を求める意見も出された。

「人事案件」決定する

○教育長、教育委員

・教育委員会教育長 富永 安男氏
任期：平成33年5月23日までの3年間。

3年間。

・教育委員会委員 中山 郁夫氏
任期：平成34年5月29日までの4年間。

4年間。

○固定資産評価審査委員

・三浦 庸一氏 任期：平成33年5月22日までの3年間。

・戸倉 茂氏 任期：平成33年6月5日までの3年間。

○選挙管理委員、補充員

選挙管理委員

・吉田 誠氏 ・榎本 榮治氏

・平井 昭二氏 ・山根 善一氏

選挙管理委員補充員

・石井 衛氏 ・能城 勉氏

・森政幸氏 ・鈴木 匡氏

千葉県町村議会議長会

自治功労者表彰を受賞

5月24日、千葉市内において、千葉県町村議会議長会第1回定例会が開催されました。会議の席上、町議会議員を11年以上在職し、地方自治に功労があつた議員に贈られる、「自治功労者表彰」の発表があり、鋸南町議会からは、伊藤茂明・黒川大司・鈴木辰也の3議員が受賞しました。

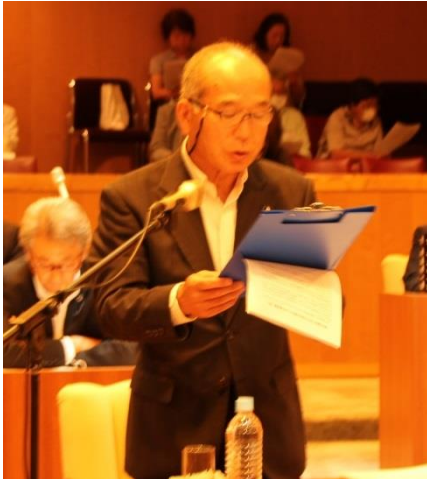
この伝達式が、6月12日、第3回鋸南町議会定例会で行われ、午後の会議再開前、議場において小藤田議長から受賞者へ表彰状と記念品が授与されました。



左から、伊藤議員・黒川議員・鈴木議員



ここが聞きたい いっぱん質問



笹生 久男 議員
・横根採石場崩落事故の
対応について



田久保 浩通 議員
・介護保険事業計画について

3 議員が町政を問う



三国 幸次 議員
・鋸南病院について

一般質問とは、議員が本会議場で町長・教育長
に対し質問や提案を行うものです。
紙面の都合上概要を掲載しています。

町のホームページで
議会のライブ中継も
やっているよ





問 横根崩落事故 事業者への指導結果は

答 町に改善計画の説明あり

質問 横根採石場の2度の崩落事故に関して、町は県に対し再発防止の指導を要望した。結果出された県の指導書では、原因究明と発破作業の見直し等をはじめとする再発防止に向けた改善措置を、速やかに報告することとされているが、その結果は。

答弁 11月8日付け「採石場での土石流出事故の指導文書」で、県は事業者に対し、再発防止や改善措置の検討結果を速やかに報告するよう指示しました。

その後、2度の県と事業者間での協議を経て、3月22日、県に最終的な改善計画書が提出され、翌23日に両者から町に対し、改善計画の説明がなされました。

改善計画では、今回の原因を、崩落発生前からの連続した降雨により、地山が飽和状態となり、摩擦力、粘着力が減少していたところに、発破による振動が作用し、表層崩壊が発生したと結論付けています。

一方、再発防止対策としては、県道の斜面のみならず、離れた区域でも、県道から2mの高さに達するまでは、火薬による発破作業は行わず、重機による掘削を行い、通行量の多い時間帯は作業を行わない等の改善を図るとしています。

更に地山の湿潤把握のための観測井戸を新たに設置し、雨水の滞留状況の監視も行うとのことでした。

質問 事故の原因、現場状

況や防止対策について、町の主要道での事故であり、一般町民へも情報提供されるべきと考えるが、町として事業者への指導ができないのか。

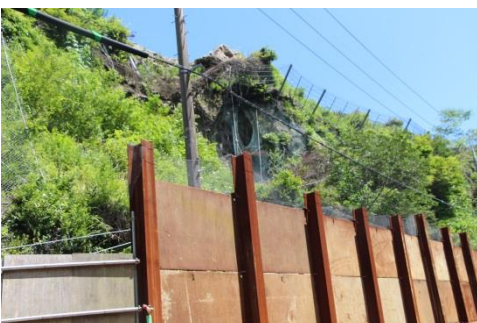
答弁 事業者からは、4月に、事業所がある鋸東3区の住民に、再発防止対策の説明及び改善計画内容の回覧を個別訪問により行ったとのこと。町では、県と協議の上、一般の方々への情報提供の実施について事業者へ指導して行きます。

質問 横根採石場の岩石採取計画は平成30年8月31日までとなっているが、今後の見通しはどうか。

答弁 5月31日に県及び事業者と町で協議した際、事業者からは、改善計画書に

基づき、必要な安全対策を行った後、再度、認可申請を行う意向であるが、再開の時期は県と協議を進めるが、現在は未定とのこと。

要望 度重なる事故は「共同運営協定書」の内容から地元業者の関連が十分判明できる。安全確認について、不十分であれば町から県へ具申すべきことを要望する。



設置されている防護柵

三国 幸次 議員



問 鋸南病院を良くし、守るためには

答 財団と協議を密にし検討したい

質問 国のたび重なる、医療制度改革により、医師や看護師不足を招き、中小病院の経営を困難にしている。鋸南病院も医療制度が変わるたびにその対応で振り回されてきた。このような状況下でも鋸南町で唯一の国保病院を、守り、良くしていかなければならないと考えるが、鋸南病院の現状についての認識は。

質問 国が医療制度改革とその対応についての考えは。

質問 国の医療制度改革と

答弁 療養病床は、看護師の人数が施設基準に達していないことから、開設以来9床を休床としており、25床で稼働している状況です。依然、看護師の人員確保は困難な状況です。医師確保においても、県の医師派遣事業により、1年から2年間の派遣期間で、かかりつ

け医として患者との信頼関係の構築がままならないとの認識もしております。経営面においては、外来患者数の減や一般病床における入院患者数の減、治療行為が入院料に反映されない長期入院患者が、療養病床において多いことが、収益の減につながっています。

質問 急性期一般入院料1から7までの7段階に再編されました。加えて、新システムを導入し、看護師が毎日重症度、医療・看護必要度をデータ化しなければならず、鋸南病院は、25対1で対応している中で、従来の診療報酬を維持するには、看護師を増員しなければなりません。病院を運営する財団に考えを示させ、速やかに協議を行うよう求めているところですか。

質問 町民からの信頼を高めるため、経営も改善・安定させるために町として力を入れる必要があると考えるがどうか。

答弁 職員等の異動による業務の遅延や患者等の対応で、相手に不快感を与えな



住民の期待を背負う鋸南病院

いよう接遇の改善を要望し、経営安定に努めて行きたいと考えています。

要望 国の医療制度改革に、前向きに立ち向かい、鋸南病院を維持・発展させるという方向に持って行かないと町の大事な病院が良くならないと思う。経営面、人材確保、接遇において腹を据えた取り組みをして欲しい。



問 要介護認定者数、なぜ減少に向かうのか

答 人口減少と介護予防事業の取り組みの成果

質問 介護保険事業計画が

3月に策定され、4月から実施されている。計画によると、要介護認定者数は全国的に上昇傾向にある中、町の推移計画によると、平成37年度には、緩やかな減少傾向になると見込んでいます。この傾向は、どう分析されたものか。

答弁 減少傾向については、地域において介護予防事業を推奨し、実践してきた成果により、介護状態になる方が全体的に増えていないことが要因で、このことが推計に反映されたと考えています。

質問 このような減少傾向に向かうケースは、希なケースと受け止めていいか。

答弁 そのように受け止めて

いただいております。結構だと思

質問 住民主導型の介護予

防活動が行われ、現在18地区の住民が参加している。これは素晴らしいことだと思

う。更に新たな地区に対しても実施したいとのこと

今後の取り組みについて、

答弁 現在、取り組みを行っている地域については、核となるリーダー的な方々がおられ、その方々が、開催の連絡や参加の呼びかけを行っています。未実施の地区においても同様に、核となるリーダーの養成をサポートするような形で取り組んでいきます。

質問 介護予防健診は継続的に

ねていく中で参加者の推移は

答弁 平成27年度からです

が、105名、28年度は109名、そして平成29年度は128名と若干ではあります

ますが増えてきております。

要望 参加者が是非、継続

して来られるように、参加者が楽しめる新しい企画をプログラムに入れ、進めてほしい。また、介護予防の施策として、生活機能事業を保健福祉総合センターと老人福祉センターを拠点に引きこもり予防、運動機能強化を主とした事業展開を重ね、その結果、生活維持・改善が見込まれ、すばらしい成果を上げている。そこで1点提案したい。外に出ることが面倒な方や、色々

な理由で参加できない方に対して、声をかけあうことで、一歩踏み出せるきっかけが作れば、介護予防のさらなる充実が図れる。高齢者同士が声を掛け合える環境作りをお願いしたい。



成果を上げている介護予防事業

地域おこし協力隊と

懇談会

町は、現在、移住定住分野1名、有害鳥獣対策分野2名、計3名の協力隊員を委嘱している。昨年の10月から始まった地域おこし協力隊の活動については、鋸南町議会としても注目している。協力隊員の活動開始から半年が経ったが、それぞれの活動がどのようなものか、詳しく理解していないのが現状。そこで議会広報特別委員会では、地域おこし協力隊と直接話をする機会を設け、3名の協力隊員の活動内容や思いなどを聞き、それを議会だよりの記事とすることで、多くの方々に知ってもらいたいと考え懇談会を行った。

有害獣でツーリズムを

前は旅行会社に勤務をしていたので、その時の経験を活かして、都会の人達に、有害獣対策に触れてもらって、交流促進の手助けができればと考えています。

なかでも狩猟エコツアーは、簡単に言ってしまうと、有害獣を仕掛けて、捕って、捌いて、食べるというツアーです。全国的に見ても、こういった取り組みをしているところはないんですね。先進的な体験型の観光なのに、地域の課題も解決する、

そこから交流も生まれ、移住したいと思う人も出てくるかも知れないじゃないですか。歴史的狩猟文化、農業、食育と、

でも幅広いジャンルにわたっているから、たくさんの可能性を秘めている取り組みなんです。今は、抵抗があるようなことでも早めに検討して、可能性を探ることはとても大事なことです。鋸南町として、発信しきれていない部分があると思うので、それを自分達が伝えて地域振興につなげていきたいです。

プライベートでも、アウトドアが好きなので、自然の中での活動を積極的に行っていたらいいと思います。今後はツーリズムにも関わり、ノウハウを身に付け、利益を生み出す事業へと発展していけたらと考えています。

アが好きなので、自然の中での活動を積極的に行っていたらいいと思います。今後はツーリズムにも関わり、ノウハウを身に付け、利益を生み出す事業へと発展していけたらと考えています。

黒澤徹隊員

有害鳥獣対策支援
狩猟免許所持

多くの人が狩猟免許を

もともと趣味で狩猟をやっていたので、狩猟技術を高めたいと思い協力隊に応募しました。

現在、横根地区の皆さんの狩猟に連れて行っていただいて、一斉駆除の実施隊にも参加させていただいております。皆さん温かく迎えてくれて、とても感謝しております。狩猟技術がとても高く、私に惜しみなく教えてくださるので、その技術をできるだけ吸収したいと思います。

狩猟の方法は、くくりわなはこわな、銃といくつかありますが、鋸南町では、どの方法に関しても高い技術を学べる環境にあります。それは、

とても素晴らしいことだと思います。免許を取る方が増えれば、駆除効果も高くなります。そのきっかけに自分達が出来ればとても嬉しいです。

協力隊での活動、業務内容が特殊なこともあり、特定の方には、頻繁にお会いするのですが、広い意味で町の方に接する機会が少ないのが残念です。鋸南町に来て、半年経ちますが、まだまだ知らないことが多く、まずは、多くの方に顔と名前を憶えていただいで、色々な分野の方々と交流し、鋸南町のことを理解したいです。

有害鳥獣対策支援
狩猟免許所持

伊藤 哲生 隊員

共通課題にチャレンジ

東京でヨガインストラクターをやっていたので、その経験を活かし、鋸南町でもヨガをベースに活動させてもらっています。鋸南小学校の放課後こども教室でも子ども達にヨガを教えています。そのおかげで、町民の方とも親しくさせてもらい、町で声をかけてもらえるようになりました。

今後は、移住定住者向けのパンフレットを作成したいと考えています。パンフレットを手にとってもらい、鋸南町に移住したいと思ってもらえるような・・・。

統計を取りはじめて間もないですが、移住定住の相談件数

が、1月から40件程あり、御年配の方の相談が多いです。結果はまだ出ていませんが、これからだと思っています。

今回、協力隊員と委員の皆さんの懇談会に参加して、移住定住支援と有害獣対策は違う活動だと思っていました。この機会を通して、共通の課題も見えてきました。自分の中でも意見が整理され、ヒントになることがたくさんありました。残り2年半でできることを一生懸命探していきたいと思えます。

移住定住支援
ヨガインストラクター

花澤 華衣 隊員

夢の田舎暮らしをして



白田 誠治さん

北海道松前郡福島町生まれ。
千代の富士と同郷の同い年。
函館の大学を出て、神奈川県平塚で小学校の教師を30年、52才で退職。
田舎暮らしにあこがれ53才で鋸南町へ

自給自足の田舎暮らしに興味があり、釣りが好きなので、海の近くに住みたいと、家探しをしていたところ、アクアラインを降りてこの地にたどり着きました。富士山と海に浮かぶ船の景色に感動し、即決でした。移住して10年になります。

家庭菜園で野菜を育てていたところ、近所の方から8アールの畑を貸してもらい、菜花栽培を始めました。その後も畑をお借りし、現在は全部で68アール。25種類の野菜、米、イチゴ、トウモロコシ、肥後グリーン(メロン)など栽培しています。

「道の駅保田小」に出荷するようになり、年配の出品者がスマホを使って商品の売れ行きをチェックする姿を見かけるようになりました。すごく、元気をもらいます。ですが、人口減少の速さに驚いています。荒れ地も増え、このままでは、さびしい。なんとかくい止めるためにも、私のような移住者が増えればいいなと思っています。

議会の日誌

5月7日 議員全員協議会
議員総会
議会運営委員会
5月11日 第2回議会臨時会
5月28日 議員全員協議会

6月5日 議会運営委員会
6月12日 第3回議会定例会
6月28日 議会広報特別委員会
7月5日 議会広報特別委員会協議会
7月9日 議員全員協議会

編集後記

平成30年第54回千葉県操法大会が、7月28日に千葉県消防学校を会場に開催されます。町からは安房支部代表として第2分団が出場。1月より60回を超える猛特訓を行っています。先般、第2分団の操法訓練を見学する機会が旧佐久間小でありました。自衛隊との併用利用地で、グラウンドは凸凹、雑草が生い茂り、決して良い条件と言えません。団員の1人が自宅からトラクターを持ち込み、急ぎよ、操法練習会場の整備を始めました。その他の団員は、一輪車で土砂の運搬を行う等の連携を見ることができ、第2分団の一致団結した素晴らしい行動に感動しました。

議会だよりが皆様の手元に届く頃、大会が開催されます。町民の期待に応えられる結果が出せることを祈念しています。頑張れ、第2分団諸君。

笹生(久)

親子で議場見学

夏休み企画

議会について楽しく知ろう!!

夏休みの自由研究に、普段は入れない議場の中で、やさしく楽しく議会の仕事を学びませんか

◆日時 平成30年8月22日(水)
午前10時から30分程度

◆場所 鋸南町役場2階議場

◆募集人数 中学生までの親子10組20人

◆申込締切 8月10日(金)

◆申込みは 議会事務局 ☎55-4804